

Trait d'union

トレデュニオン

VOL. **50**
2015-12



- 海外展から読む 2016 年春夏シューズトレンド 2-5
- シューフィッター補習講座 (東日本支部)
「フットプリントの見方とトラブル対処法」 6-11
- シューフィッターが活躍するお店訪問① 12-17
- 第 29 回日本靴医学会学術集会 参加報告 18
- 平成 27 年度 第 3 回理事会概要 19
- 事務局便り



一般社団法人 **足と靴と健康協議会**
FOOT, FOOTWEAR AND HEALTH ASSOCIATION

スニーカートレンドの鎮静化。 新たに見えてくる方向性とは？

(株) ジャルフィック チーフエディター 岡村 嘉子

9月初旬から10月にかけて、世界各地で2016年春夏シーズンに向けたシューズコレクションが発表されました。中でも世界最大のシューズの見本市であるミカムは9月1日～4日という早い時期での開催となりました。公式な発表では前年同期展と比較して、ビジターは約10%の減少。その理由としては第一に、クリミア問題やルーブル安などの影響を受けた、ロシア、ウクライナ、カザフスタン地域からの集客の低下が挙げられました。しかしながら、展示会によっては集客数を伸ばしているものもあり、一概にこの世界状況だけが要因とは考え難いでしょう。日本においても、合同展示会というプレゼンテーションの場が不可欠でありながらもその力を弱める中で、今後の在り方や展開の方向性を見直す時期に来ているということは、昨今多く耳にする話題のひとつとなっています。

今シーズンのコレクションからは、スニーカートレンドの鎮静化が窺えます。もちろん依然として商品構成のひとつとして重要ではあり、マーケットでもまだまだ人気のアイテムですが、イタリアを中心とするファクトリーやデザイナーたちは次の方向性の提案にチャレンジし始めています。

精緻につくりこまれたクオリティの高い革靴への流れ

一昨年の春夏と比較してスポーティー傾向は落ち着きを見せています。シューズメーカーが、こぞってスニーカーを開発しようとする流れは鎮静化し、素材感や装飾性ともに高い価値を備えたシューズが新たに提案されるようになっていきます。もちろん、ここ数年来のスポーティートレンドの中で、新たに確立されたスニーカーブランドは興味深い提案を行っているし、カジュアルテイストのブランドではスニーカーのデザイン要素はモチーフとして依然として重要なものとなっています。商品構成のひとつとしてスニーカーの果たす役割は今シーズンも大きいでしょう。しかし一方で、いつまでもスニーカートレンドが主流を占めることに、革靴メーカーは危機感を持っており、トレンドを次のフェーズに推し進めたいと考えていることも事実です。

このような流れの中で、ベーシックあるいはトラディショナルなデザインをベースに、仕立てのテクニックや素材感、あるいはヒールやオーナメントのデザイン性によって、オリジナリティのあ

るモダンさを表現するという方向性が浮上しているのが印象的です。シンプルながら、より精緻につくり込まれた、クオリティの高さを感じさせる商品が全体的に増加しているように感じます。

これはスニーカーの次に来る方向性ということでもあり、当然のことながら快適性への視点は重要になります。エレガンスブランドにおいても、安定感と快適性のあるヒール寸の中で新たな提案が試みられている点が特筆されますし、先シーズン一大トレンドとなったスポーツサンダルやコンフォートサンダルなどは、さらなるファッション的な進化を遂げています。

また、その他に重要なテーマとして挙げられるのは、先シーズンに引き続き70年代あるいはクラフト的な表現といった、手の温かみや民族的なモチーフへの関心の高まりです。ミニマルやスポーツの流れの先に位置することになるこれらのテーマは、今のモダンさを備えた表現であることが必須であり、新たに新鮮な装飾性を生み出す原動力として期待されます。

1. FORM & ITEM

モダンなワンヒールサンダルの新しさ。商品構成には欠かせないスニーカー

今シーズン、エレガンス系の新たな注目アイテムとして、ワンヒールサンダルが浮上しています。安定感のある低寸から中寸のスクエアヒール（ぶっつけヒールタイプ）によってモダンなシルエットを描く、存在感のあるアイテムが新鮮に映ります。それらは、カラーコンビネーションや太めのストラップデザイン、あるいはインパクトのある装飾など、繊細というよりも強さのあるデザイン性でまとめられ、足元にシャープな印象をつくり出します。またそれはビジュアル的な新しさだけでなく、履いた時の快適性をも感じさせる点において、今の流れと整合性の高いアイテムと言えるでしょう。

一方、70年代というトレンドを一因に、甲深のミュールやサボ的なデザインが増加している

点も今シーズンの大きな特徴です。これも直線的なラインや光沢のある素材使いなどによってミニマルな雰囲気になされています。また、パンプスでは、セットバックヒールによる後方に重心を置くバランス感によって、モダンなシルエットにアプローチするブランドが目立ちます。

カジュアル系においては、スニーカーはひと段落したものの、デザイナーズブランドの商品構成には依然として必須のアイテムとして定着しています。それぞれのブランドならではのテーマによって、デザイン性の高いユニークなモードスニーカーが提案されています。また、先シーズン大きく浮上したスポーツ&コンフォートサンダルはよりファッション性を強める進化を遂げて継続しています。



表面感に特徴のあるゴートを用いたワンヒールサンダル。
黒×白でモダンに



ゴージャスなモードスニーカー。
大振りのタッセルが効いている



エレガントなミュールサンダル。
甲深で安定感のある履き心地



先シーズンのトレンドアイテムスポーツサンダルも進化。
オールレザーでの展開

2. MATERIAL & COLOR

ナチュラルへの回帰とスポーティー傾向の継続

先シーズンを象徴するミラーレザーやグリッターといった華やかな輝き素材はひと段落している様子です。一方で新たな傾向として浮上しているのが、自然な艶が美しいカーフやシンプルなガラス系。また、数としては決して多くはありませんが、アニリン系のレザーの透明感とナチュラル感も久しぶりに復活し、新鮮に映ります。さらに、春夏のスエードやヌバックといった起毛素材が、美しく繊細なカラーを表現するものとして効果的に用いられています。

一方、さまざまな型のパンチングやメタルメッシュのようなエンボス、さらにダブルラッセルといったスポーティー素材は継続しており、さらに表現の幅を拡げているようです。今シーズンは上質な革らしいナチュラル感への回帰と、

クリーンかつテクノロジカルなスポーティー素材という2つの方向性が色濃く出ています。

カラーとしてはブラックとホワイトが依然として重要な役割を果たします。特にホワイトは“ホワイトマジック”とも言いたくなるような、定番をモダンに刷新する格好のカラーとなっています。例えば、白と黒で構成されるパイソン柄も同様の意味で魅力的に映ります。また、アイズグレーをはじめとするグレー系、ややベージュみのグレージュなど、ニュートラルのバリエーションも存在感を示しています。

アクセントカラーとして強いのは依然としてブルー系。ターコイズやスカイブルー、ネイビーなど、その色調にはさまざまなものが用意されています。



硬質な印象のガラスレザーは切りっぱなしでシャープな印象に



自然な艶とライトなカラーが美しいアニリンレザー。久しぶりに登場



モダンなピラミッド型のエンボスのトップにゴールドを吹く。スポーティーに決める



パール～ライトの色調は今シーズンに特徴的。注目のカラーパレット

3. DETAIL & ORNAMENTATION

機能性ディテールと手仕事を感じる装飾に注目

シンプルかつインパクトのある装飾感としては、素材 & カラーコンビネーションが依然として主流の表現方法。特に今シーズンは3色をコンビネーションするトリコロール配色が多く見られます。その中に一色ブラックを効かせることで、モダンかつシャープな印象をつくり出す配色は特に新鮮な表情を見せます。

その他の装飾として注目されるのは、ベルトやエラストックといった機能性のあるものや、70年代というトレンドを背景としたハンドクラフト装飾です。中でもフリンジの多様性は特筆さ

れます。アシンメトリーなデザインや、細かく長いフリンジなど、これまでにない表現であることがポイントとなります。また、フリンジ以外にも、挿しメッシュやパッチワーク、太番手のステッチといった、手仕事を感じさせる装飾やディテールが、さまざまなブランドで見られます。

一方、以前ほどの勢いはありませんが金具使いも継続しています。やはり、ゴールドが主流です。中でも大きなアイレットを活かした装飾は、これまでのスタッズの代わりとなることを予感させます。



トリコロール配色。
鮮やかなブルーにブラックが効いている



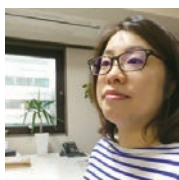
生地のを解いてフリンジ状に。
パールなブルーでフェミニンな印象



ネックベルトは太目のバランスで。
華奢なイメージよりもシャープなモダンさが重要



ゴールドの大きなアイレットを装飾として施す。
シャープなインパクト!



岡村 嘉子 (おかむらよしこ)

大学卒業後、ジャルフィックに入社。
新業態研究誌「Zerohour」の編集に携わり、衣・食・住・遊にわたるさまざまな新概念ショップの取材・執筆を経験する。現在はシューズ&バッグに関する機関誌「JALFIC」の企画・編集及び、トレンドセミナーや海外見本市レポートセミナーなどで講演を行なう。流行色情報センター (JAFCA) が発行する「流行色」にもシューズ&バッグトレンドについて執筆中。

「フットプリントの見方とトラブル対処法」

2015年9月4日（金）宮城県仙台市にて、「フットプリントの見方とトラブル対処法」の講座が開催されました。ドイツ人のマイスターと共に歩まれた15年以上のご経験を生かした青木先生による講義と実習は、参加者募集の段階から反響が大きく、受講者の方々からも「丁寧でわかりやすい」と大変好評でした。その一部をご紹介します。

報告者 SFC 東日本支部 関口 紘美

講師 青木 淳（株式会社フロイデ 事業部長）



フットプリント採取の実習と フットプリントの見方について

フットプリントの採り方の説明の後、グループに分かれて実習。青木先生からも非常に良くできていたとお褒め頂いたほど、みなさん熱心に採取。採取してもらった自分自身のフットプリントを手元に置きながら、フットプリントの基本的な見方について、説明を頂きました。



フットプリントは2次元で採取していますが、様々な情報が読み取れ、ドイツ整形靴でもフットプリントを元に調整しています。

スティックを用紙に対して90度に立てて輪郭を採ることで、足長、足幅もかなり正確に計測できます。



「足体」とは足の体型のことを言い、フィッティングにおいて非常に重要です。フットプリントで足体をみることで「幅は広いが、骨格は細い」等がわかります。



フットプリントでは「足長」「足幅」「踵幅」「MPの位置」「足幅-踵幅の差」の他「足高」もわかります。

「足高」は具体的な数値はフットプリントに出てきませんが、ふまず部分のフットプリントの形状やふまずの輪郭の入り方で推測できます。但し、統一した採り方をしなければ「足高」の判断に影響してくるので、注意が必要です。

足体からの足の分析は、相対比較となるので、慣れないと足が広いのか、甲が高いのか等わかりません。経験を積むことが大切です。

お客様ご自身も経験がない為、「自分の足は太い」

と思こんでいるが、実は幅細足というケースもあります。


何が標準なのかの判断は難しいと思いますが、形や内側縦アーチの上がり方をみて覚えるしかありません。幅広に関しても、何ミリだからという基準はないので、これも見て覚えるしかありません。

ハイアーチ、扁平足はふまず部分の写り方をみます。

フットプリントの見方

③ 体重圧・足底圧

フットプリント上の青い部分の中で、濃く写る部分が体重が強くかかっている。
例えば、外側にかかっていたら、O脚の可能性がある。



フットプリントからは「体重圧・足底圧」もわかります。濃く写っている部分が「圧が強い部分」となり、踵が濃ければ、踵重心ということになります。

フットプリントの見方

④ 脂肪率(肉付き)

骨格と輪郭の間部分が脂肪(肉付き)部分である。骨格が細くても肉付きがよいために太く見える足もある。骨格が靴のフィットングに関わる。



骨格と輪郭の間が大きいと肉付きの良い足です。パンプスのフィットングでは一見きつそうに見えても、骨格が細く肉付きの良い足だと平気だったり、逆に肉付きの少ない足だと痛かったりします。

フットプリントの見方

⑤ トラブル(角質・タコ・ウオノメ)

圧の中でも角質などが出来ている場合には、その部分だけが際立って濃く写る。




ポイントで濃く写っている箇所は、角質、胼胝、魚の目です。

フットプリントの見方

⑥ 変形(足趾・足全体)

足の変形、足趾の変形などがフットプリントから判別できる。
外反母趾、外反扁平足など



このフットプリントはリウマチの方のもので、足趾はよく変形する部分です。変形し写っていない趾の向きがわかるよう、趾の向きを線で印してあります。

外反扁平足の特徴


- 1 全面が青くなる
- 2 舟状骨周辺が内側に広がる
- 3 母趾、母指球が濃くなる
- 4 踵骨の位置が内側による



輪郭が舟状骨を中心に内側に広がります。必ずしもべたっと全体が写ったフットプリントだけではなく、半分くらい写っている扁平足もあります。

ハイアーチの特徴

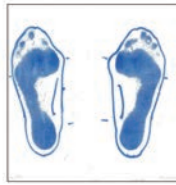
- 1 縦アーチ部が細くなる。
- 2 重度の場合、中足骨骨頭と踵骨だけ荷重。
- 3 踵骨が内反傾向にある場合、踵骨が外側に荷重が移る
- 4 病気でない健康なハイアーチがほとんどである。



ハイアーチは踵が立っている為、ヒールカーブに影響し、トップラインにアキレス腱が当たりやすいです。

また、ふまず部分が写らないという特徴があります。

外反母趾の特徴



- 1 母趾が外側を向いている
- 2 母指球に膨らみがある場合、外反母趾の可能性が高い
- 3 母趾と母指球部、踵内側の足底圧が大きい

外反母趾にも色々なタイプがあり、外反母趾だからといって「細い」「太い」「扁平」というような傾向はありません。

幅が広い外反母趾も、細い外反母趾もあります。

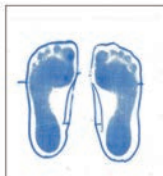
開張足の特徴



- 1 第2、3、4中足骨頭に荷重がかかる。
- 2 前足部が縦、横に広がる
- 3 後足部から前足部のドロップ(差)が大きい

開張足は横だけではなく前後にも広がり、現代は7割ぐらいの人が開張足気味と言われています。

ハンマートゥの特徴



- 1 足趾と前足部の距離が短い。
- 2 足趾に角質がある場合が多い
- 3 基本的に第2趾～第5趾までがハンマートゥになる。
- 4 ハンマートゥは、趾先が地面についている状態である

趾の変形は第二趾から第五趾までが曲がるハンマートゥに加え DIP 関節が曲がるマレット趾、地面に着地しないわし趾と大きく分けて3タイプあります。

趾が乗り上げる乗馬趾はリウマチの人に多い変形です。

フットプリントの見方

① 脚長差

左右の脚長差の有無をフットプリントから判別できる。



ドイツの専門教科書では、「真の脚長差」と「見せかけの脚長差」があると言われています。「真の脚長差」は骨の長さが違う為、補高が対処方法となります。「見せかけの脚長差」は、骨の長さは同じなのに股関節の歪みや股関節脱臼、側弯症により差が生じている為、補高は注意が必要で、場合によっては何もしないほうがよいと言われています。

グループごとのフットプリントへの講評

では、みなさんが実際に採取したフットプリントを見ていきましょう。それぞれのグループのフットプリントについて、気づいた点を発言してもらいます。全員のフットプリントをグループごとにホワイトボードに貼りだし、先生と受講者で熱心に意見交換を実施しました。一部のみご紹介します。

《A グループ》

フットプリントから、腓胝等のトラブルを読み取り、本人に確認したところ、的中。舟状骨付近のスエル（外側輪郭）のふくらみから外反しているとの受講者の予測に対し、外反ではなく外脛骨の可能性もあると先生が回答。右足が強く写っているフットプリントに対して、野球等片足に力を入れるスポーツをやっている人は、このように片足のみ強く写ることがあると先生から講評頂いたところ、本人はテニスをやっているとのことでした。

《B グループ》

スエルと骨格の隙間が狭いフットプリントから「肉付きがない足」と発言が出たものの、計測時にスティックを中に入れ込んで採取してしまったことが原因と発覚。また、踵部分が濃いフットプリントから踵重心を予測したものの、前足部が極端に薄い為、採取時の影響も考えられると先生から指摘頂

き、正確な採取の重要性を実感しました。

《C グループ》

扁平足と外反母趾、開張足の典型的なフットプリントがあるグループでした。

扁平足の影響から、一見踵の大きさに左右差があるようにみえても、メジャーで確認をすると骨格的には左右差がほとんどない事例があり、フットプリントをメジャーで確認する重要性も学びました。

《D グループ》

中足部が濃いフットプリントに対して、前足部に負担がかかっていると判断し、先生からペロッチでの調整を提案頂いたところ、本人も負担を意識し、既にすべての靴にペロッチを入れているとのこと。

《E グループ》

趾が写っておらず、足裏全体が写り込んでいるフットプリントに対し、本日より一番の扁平足と先生から講評。歩行時に趾が使えず、歩くのに疲れやすいのではと質問に対し、ご本人から特にMP付近が痛みサポーターをしていると回答。先生からサポーターは、症状がひどい時には支えとなり良いが、慢性的に使用し続けると筋肉を使わなくなりサポーター無しではいられなくなる為、適切な時に使用したほうがよいとアドバイス頂きました。

講評が終わった後も、店舗のお客様のフットプリントと写真を持参した受講者から、質問が出る等、みなさん非常に熱心です。先生から「フットプリントだけで足の特徴が100%分かるわけではないので、想像してお客様と会話をしながら対処をしていくことが大切」とまとめて頂き、休憩。午後は対処法です。

代表的な足のトラブル対処法

開張足



【対処法】
靴選び
1 足と木型を合わせる
2 ウエスト部分を絞める

インソール
3 ペロッチ調整
4 ポルスター調整

アスファルトの上を歩いている現代人には開張足が非常に多いです。ドイツのマイスターの基本的な考えは「靴型のボールガースとインステップガースは小さくしてはいけない、ウエストは少し絞る」です。ウエスト部分を絞めることができる紐靴がよいでしょう。ペロッチ調整では、必ず第二から第四中足骨 骨頭のすぐ後ろに入れるので、骨格をしっかり描くことが大切です。骨頭より後ろにいくほど効果が薄くなります。ペロッチには色々な形がありますが、効果的なペロッチは、前方にしっかり高さがあるペロッチです。開張足には、柔らかくクッションをつくるポルスター調整も有効です。

外反母趾



【対処法】
靴選び
1 足と木型を合わせる
2 ペロッチと縦アーチをつける
3 前足部にゆとりのある靴
4 外反の確認

インソール
5 ペロッチ調整
6 縦アーチ調整
7 ポルスター調整

外反母趾の対処法は開張足と似ていますが、ペロッチに加え、母趾への負担を減らすために、内側アーチパットを施し、ポルスター調整を行います。内側アーチパットは、舟状骨の下が一番頂点になるように入れてください。マイスターでも意見がわかるところですが、内側縦アーチパットを前足部寄りに入れると気持ちは良いが、効果は薄れると思います。

【外反扁平足】

【対処法】

靴選び
1 足と木型を合わせる
2 ヒールカーブを合わせる
3 甲が低い場合が多い
4 カウンターがしっかり
5 ヒール高3cmくらい
6 ローリングソール



インソール
7 縦アーチ調整
8 ペロッチ調整

外反扁平足では踵骨が外反しているのです、これをまっすぐに立たせることができるよう、ヒールカウンターがしっかりしている靴を選ぶことが大切です。ヒールにある程度の高さがないと踵骨がさらに外反してしまいますので、少しくらいのヒール高、しっかり趾で蹴ることができない人も多いため、

ローリングソールもお勧めとなります。対処法としては、内側縦アーチをもちあげ、カウンターでしっかり踵を支えることが重要なので、内側のカウンターはMPあたりまであるほうがよいです。

アーチを作ることが目的ではなく、踵骨をたたせることが目的です。

ペロツテパットは細いと意味が無いので、足幅の半分くらいの大きさを目安としてください。

【ハイアーチ】



【対処法】

靴選び

- 1 足と木型を合わせる
- 2 甲に余裕がある靴
- 3 捨て寸を余計にとる

インソール

- 4 凹足パッド
- 5 ペロツテ
- 6 ボルスター調整(前足部・踵)

ハイアーチは、内羽根はきつことが多いので外羽根のほうがよいです。また、長時間起立しているとアーチが下がる人もいますので、捨て寸は長めにとりましょう。ヒールカーブとトップラインに注意する必要もあります。

ハイアーチの場合に、ペロツテを骨頭のすぐ後ろに入れると違和感がでるので、少し下げた位置がよいでしょう。

胼胝・鶏眼



【対処法】

靴選び

- ① 足と木型を合わせる
- ② 前足部に余裕のある靴

インソール

- ① 荷重を移動する
- ② ペロツテ調整
- ③ 縦アーチ調整
- ④ ボルスター調整

胼胝や魚の目は、ドイツではフットケアでとることも多いが、靴での対処法としては、ペロツテやボルスター調整で、患部に荷がかからないようにします。

イボは、ウイルスによるもので圧とは関係がないので、靴での対処法は有効ではなく、皮膚科に行く必要があります。白癬は靴の圧とは無関係にできるので、通気性の良い靴選びが大切です。

踵骨棘・足底筋膜炎

【対処法】

靴選び

- ① ヒールの低い靴
- ② ソールにクッション性

インソール

- ③ 縦アーチ調整
- ④ ボルスター調整



踵骨棘と足底筋膜炎は似た部分が痛くなりますが、アキレス腱とつながっているため、ふくらはぎも硬い人が多いです。不要な口紅で足の痛い箇所をチェックし、フットプリントを踏んで頂くと、痛い部分が写るので、わかりやすいと思います。クッション性を高める調整が有効です。

**強剛母趾
Hallux Rigidus**



強剛母趾は軟骨変形により、趾で蹴れなくなります。いきなり固まるのではなく、痛くて動かせなくなり徐々に固まり、背屈制限が起こります。

リギドスローリング等の調整が有効ですが、穴をあける箇所は、痛む関節ではなく、痛む部分の前方を調整する必要があります。アウトソールは、趾の下に添え木をするようなイメージで少し硬いもののほうがよいです。

脚長差


【対処法】

靴選び

- ① アウトソールの安定性
- ② 補高

インソール

- ③ 補高



左右差があると脚長差が疑われます。若干の差だとインレーゲンで、それ以上はアウトソールで補高しますが、補高できる高さには限りがあります。

関節リウマチ



- 1 RAの場合、外反母趾、開張足、外反扁平足、ハンマートゥなどが強く出る。
- 2 足趾が着地しない場合には、スクライバーで指の位置を示す。

【対処法】

- 1 靴は、足を変形させないもの。柔らかすぎるものはよくない。
- 2 アインラーゲンで足変形の予防をする
- 3 ローリングで歩行の補助
- 4 留め具においては、手が使えないことも考える

リウマチでは、柔らかすぎる靴は変形を助長するため、柔らかすぎない靴を選び、アインラーゲンで変形を予防します。

ローリングで歩行をサポートするとともに、手指が使えないことも想定し面ファスナータイプが好ましいです。

糖尿病



- 1 フットプリントに反映しない場合が多い。
- 2 糖尿病=肥満との先入観は危険である。
- 3 皮膚の色、体温、浮腫みなどにも注意をする。

【対処法】

- 1 靴は、清潔にできるもの。
- 2 アインラーゲンで足底圧を分散させる
- 3 内張りなども足を傷つけないように気を付ける。
- 4 ペロツテや縦アーチは低めにする

フットプリントからは糖尿病かどうかはわかりません。

足が紫色っぽい等、足色をよく確認する必要があります。

糖尿病では、大きな衝撃を与えてはいけないため、ペロツテや内側アーチもなるべく低く設定します。

足を清潔に保てるよう、インソールが外せて、ふき取りができる構造の靴が好ましいです。

調整書き込み例

【マイスター例】

実際に使用したマイスターの記入例。位置・高さ・使用素材などまで、できる限り細かく記入することにより、後日製作しても間違いが起きにくい。



このマイスターの書き込みのように、フットプリントには、出来る限り細かく情報を記入することで、後日製作しても間違いが起きりにくいです。

実際にペロツテと内側縦アーチパットをフットプリントに書き入れる。

ペロツテや内側縦アーチパットは、症例にあわせて高くしたり低くしたりと調整している旨、先生からご説明頂き、実際にフットプリントに書き込んでいきました。この時も巡回して一人一人の書き込み状況を確認し、丁寧にご指導頂きました。

先生による受講者を例とした対処法の実演

実際にフットプリントと受講者の足を見ながら、先生が3名に対して調整を施していただきました。

「楽になった」「気持ちよい」など、体感できた受講者の方々からは喜びの声があがり、対処法の効果を実感。

先生からは「本来は足のための調整なので、必ずしも気持ち良いとはかぎりません。痛い調整はいけません、本当に効果がある調整であれば違和感があってもかまいません。」と、あくまで足のためであることを強調。

まとめ

青木先生の優しく丁寧な説明に、フットプリントや対処法がよく理解できたと、受講した方々からの大好評の一日でした。

次回の機会には、是非今回参加できなかった皆様の受講をお待ちしております。



青木 淳 (あおき じゅん)
 アルカグループ
 株式会社フロイデ 教育事業部 事業部長
 FHA 養成講座 講師
 〒170-0013 東京都豊島区東池袋 2-15-5
 TEL. 03-3983-0095 FAX. 03-3983-0071



ショッピングセンター「アミー」の中の「靴のシューマート」

シューフィッターが活躍する

お店訪問 11

長野県 シューマート アミー穂高店

アミー穂高店は国道 147 号線に沿った位置で、ショッピングセンター「アミー」に隣接する「ケイヨーデイツー」（作業資材、家庭園芸用品など）と共に駐車場は広くゆったりスペース。

1989 年 12 月、専門店「靴のとをしや」からシューマートのフランチャイズ店としてオープンする。店内は約 150 坪、シューマート扱い商品の他に一部は店独自で仕入れる商品も扱っている。これらの商品はコンフォート関連が多い。

スタッフは佐野生子店長を中心に 7 名の元気一杯チーム。シューフィッター資格者は 2 名だが全員基本的な簡易計測、サイズ判定、足の評価ができる。不定期に勉強会をすることで、お客様に信頼され喜ばれる対応がプラスされる。結果、集客の増加、売上の増加へと結びつく。こういったお店のお客様対応が、足と靴を中心とした相談件数の増加となってあらわれている。難しい対応は店長がお受けするが、計測を含めた相談は 1 時間程度かかるので予約してお受けしている。



お客様に好かれるチームワーク

穂高地区は観光と共に四季の移り変わりが楽しめる。品揃えも同様に訪店時の売り場はたくさんの方の冬対応商品構成でにぎやか。特にその土地ならではのゴム長靴は、いろいろな工夫がされていて見ているだけでも楽しく勉強になる。

靴修理は、シューマート修理靴コーナーへ移送。別コーナーに、ミシン、底圧着機、グラインダーなど機械があるがインソール加工を基本とした作業用として使っている。

それでは写真を中心に、特徴ある「品揃え」や「靴工房くつろぎ」をご覧くださいませ。



スポーツシューズブランド別コーナー



革靴ブランド別コーナー



ファミリーで来店のお客様が多い



展示商品点数は数えきれない程たくさん



ちょっとおしゃれなコーナー展開



あったか中敷はいろいろ
フェルト、ポア、ウール、
遠赤外線、吸汗温熱



ノルディックポールは
コンスタントに売れている



冬用（大人用）
どのタイプもライニング
や中敷はウレタン材張り
が多い
ワンタッチ式ストッパー
金具付（氷雪対応）
3,990 円＋税

ゴム長靴コーナー
(通年用／防寒用)



冬用（子供用）
履き口は紐でしばる形状
となる
ワンタッチ式ストッパー
金具付（氷雪対応）
2,990 円＋税



どのコーナーも子供靴の前には、子供用の椅子が必ずある



冬用（大人用）
ライナー付きロングブーツ
ライナーを外せば湿気もとれる
4,490 円＋税



通年用（大人用）
農作業用
前が開くのでしゃがんでの作業がしやすい
2,390 円＋税



通年用（大人用）
わさび田での作業用
履き口は別の伸縮ゴム材で狭い
5,800 円＋税

保育園、小中学校指定靴コーナー



自分で履いてチェック
近くにスタッフが何気なく寄り添う



指定靴：
保育園、小学校はスリッポン
中学校は紐靴

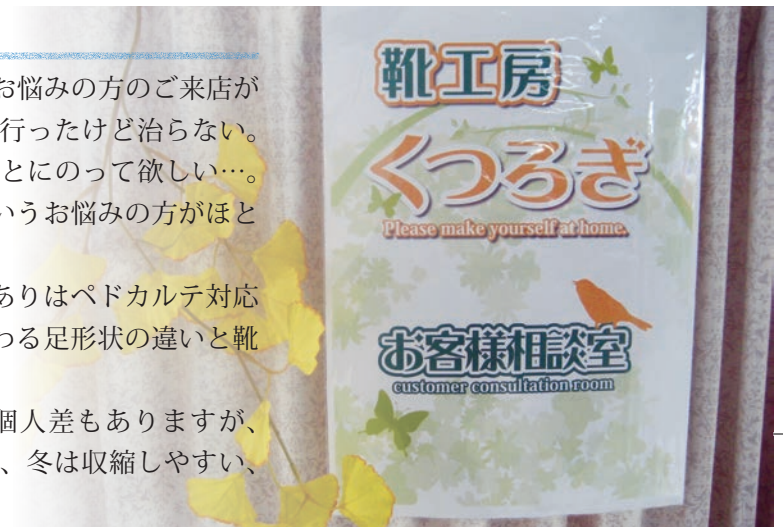
足に合わない指定靴は他の靴に替える
サイズチェック用としてフルサイズ用意

靴工房 くつろぎ

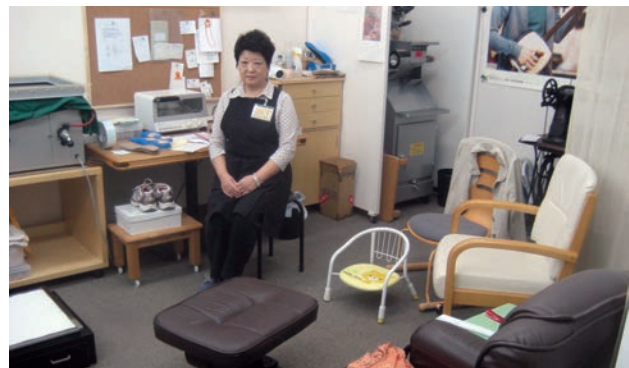
長野県のお客様が多いが県外のお客様は病気に関するお悩みの方のご来店が多い。予約相談で来られる方の主なご要望は、①医者に行ったけど治らない。②足を測って靴をえらんでほしい。③足と身体の相談ごとによって欲しい…。そして、医者で紹介された・知人に紹介されたので…というお悩みの方がほとんどです。

店内では一般のお客様にはフットゲージで対応、問題ありはペドカルテ対応が基本。足の状況説明も大切です。子供は特に成長に関わる足形状の違いと靴選びは特に伝えます。

穂高地区は全国一、最高気温の高い日があります。個人差もありますが、足の足囲寸法は夏冬で差が出やすい。夏は膨らみやすく、冬は収縮しやすい、毛細血管の影響が大きいです。



小さなお子様にもあきさせない為に
いろんなおもちゃも用意してます



とてもやさしいお姉様が対応してくれます
ファミリーでの来店が多いので椅子はたくさん用意



お医者様関係の方も多く見えるので、専門知識と資料等は欠かせません





フットプリントに合わせて既製品の
中足骨パッドを削り取る



右の既成インソールを加工する
左は足に合わせてパッド等調整した別物

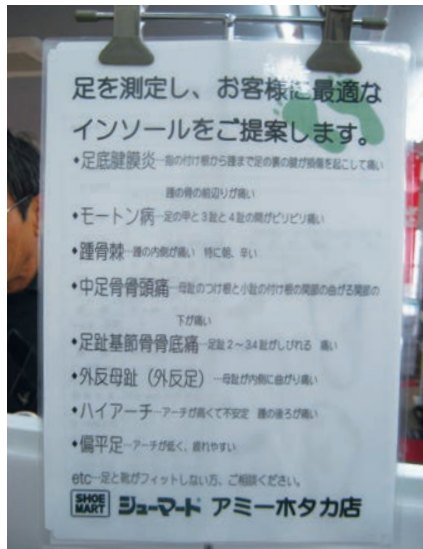


1 シャーム（独）に足をのせ足型形状をとる
爪先余裕もプラスして確保

足を測定し、お客様に最適なインソールをご提案します。



7 下面是エバーコルク板を貼り付け加工
上面は通気性のある革などを貼って完成



2 サランラップをのせ
①② 2液を混ぜて流し込み固める



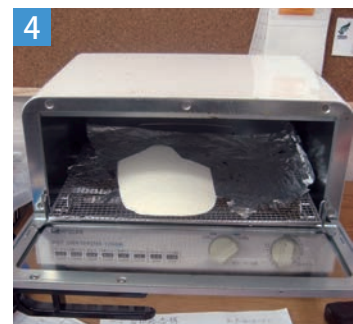
3 型どり後、左上面、右足裏面
(写真撮り用として別のものを撮った)



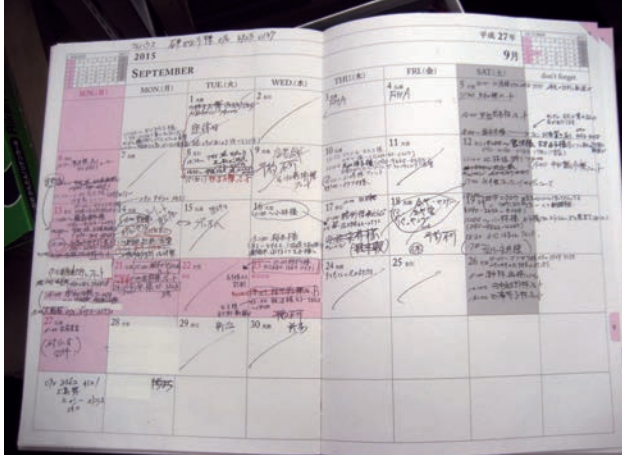
6 真空整形機を使い全体を固定



5 裏面全体にクッション材を施した上に
補強板を貼り合わせる



4 裏面の後部に補強板を入れる為
ヒーターで加熱し柔らかくする



スケジュール表は予約でいっぱい

〈当店を紹介して下さる医療関係先〉

- 信州大学 古庄准教授 医学博士
- 前角整形外科医院
- 古川整形外科医院
- 安曇野形成クリニック
- 布山歯科医院
- 太田皮膚クリニック
- トレーニングジム「ゼロ」 … 他



お客様カルテは 1,000 人を超す



取材時に来たお客様
子供の靴選びと履き方のアドバイスを短時間うける



フットプリントカルテは
パッド挿入の生命線



サイズ計測記録カード
上：子供用
下：大人用



製甲用ミシン
外反母趾対応の加工
子供靴のハイカット加工など



表底圧着機

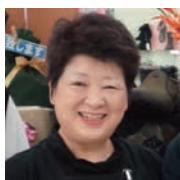


バフ削り機
集塵装置付



インソールを削る

「将来の夢」 足から靴をつくりたい。私の潜在意識はそう訴えています。
いつか、たくさん技術を身につけて、困った人の為の靴を造ってあげたいですね。



佐野 生子 (さのいくこ)

- バチエラー・幼児子ども・シニア専門資格取得
- DYMOCO フットケアトレーナー B ライセンス取得
- ドイツ整形靴技術者中間試験に合格
- FHA 養成講座 講師・実技指導員

シューマート アミー穂高店 〒 399-8303 長野県安曇野市穂高 2450 TEL.0263-82-8508 FAX.0263-81-1071

第 29 回日本靴医学会学術集会 参加報告

日 程： 平成 27 年 11 月 21 日（土）、27 日（日）

会 場： ウィンクあいち（名古屋）

参加者： 顧問 矢代裕夫 事務局長 木村克敏 研究員 原田繁

足型計測サービス & アドバイス

今回も日本靴医学会会員（医師、理学療法士、義肢装具士、看護師、など医療関連事業者）と学会参加者に対し、展示スペースに小間を出展して「足型計測サービス」を実施した。これにより、靴を販売する専門職である「シューフィッター」の職掌と靴選びに於ける「シューフィッター」の重要性を PR した。計測は原田研究員があたり、2 日間で 20 名を超える参加者へ足のサイズや特徴、靴の履き方や選び方など細かなアドバイスをした。また小間に来場された方には小冊子「はだし気分です歩こう」を配布して予防医学的見地から靴選びの重要性を説明した。小間への来場者は最終日の撤収時間間際までであり、足や靴への関心度の高さがうかがわれた。

学会概要

学会は 2F 大ホールにおいて井口傑先生（文化学園）を座長に大会長の塩之谷香先生（塩之谷整形外科）の講演で始まった。会長講演は「靴外来 20 年から見えてきたこと～みんな集まれ！靴医学～」と題して行われ、足と靴の患者さんの「靴外来」を始めた経緯などを講演された。講演の中で印象的だったのは、ほとんどの整形外科医は下肢に痛みのある患者さんへは視診・触診に問題なく X 線に異常がなければ「湿布でしばらく様子を見ましょう」という対応になるが、実は靴をチェックするとその原因がそこにある場合が非常に多い。そのほとんどが、不適切なサイズ、擦り減り、品質や素材、履き方の間違いなどが悪影響を与えているという。そして患者さんはそのことに対してまったく自覚がない。逆に言えば、足の痛みを訴え受診してくる患者さんで、きちんと足に合った靴を履いている人はほとんどいないということに正直非常に驚いた。実際に適切な靴を履くことで症状が改善した症例をいくつか発表された。

バッチラー、プライマリーコースの講師でもおなじみの阿部薫先生（新潟医療福祉大学）による教育・啓発講演「靴医学教育の現状と課題」と題したミニレクチャーではアメリカの民間資格 Pedorhist（アメリカ版シューフィッター）やドイツの OSM（オーソペディシューマイスター）と共に FHA のシューフィッター制度が詳しく紹介された。臨床現場では靴やインソールの処方数が増え、その適応疾患の範囲も拡大しているという。このような状況に教育現場が追従できず十分な医療サービスが提供できなくなる恐れがある。

つまりはこのような靴医学会は医師だけではなく、理学療法士、義肢装具士、フットケア関係、靴販売、靴製造者も参加しているので今後の役割はますます重要になってくると結んでいる。

日本靴医学会は世界的にみても大変ユニークな存在で医学の面から靴を研究する学術団体としても稀有な例と言える。回を追うごとにシューフィッターの参加が増えているように感じる。今回も会場で多くのシューフィッターの方にお会いした。また今回はフットケア関係の方の発表も多かった。この分野は近年非常に多くの企業や個人が参入されているので興味のある方は一度参加されてみてはいかがでしょうか。

この学会に参加して改めて、足の状態を確認してサイズを計測し、靴を選び、フィッティングするシューフィッターの重要性と責務を再認識した。



足型計測に関心ある方が多い



医師からの質問に答える

平成 27 年度 第 3 回理事会概要

平成 27 年 11 月 13 日（金）午前 10 時～12 時、皮革年金会館（蔵前）において理事会を開催した。

【出席】理事総数 19 名 出席 15 名

定款 25 条により理事会は成立。印南会長挨拶の後、定款 24 条に従い議長は会長があたり審議に入った。

【議事録署名人選出】

定款 28 条 2 項に従い議事録署名人は、長谷川理事、植田理事が選任された。

【議案審議】

1. 第 1 号議案

平成 27 年度上半期事業計画の進捗状況報告と下半期予定承認の件
配布資料に沿って神部専務理事報告、上半期事業計画は順調に遂行された旨報告があった。

●シューフィッター部会

- ・養成講座上期結果：プライマリーコース 受講者数 223 名
バachelorコース 受講者数 15 名
シニア専門コース 受講者数 23 名
- ・養成講座下期見込：プライマリーコース 受講者数 215 名
幼児子ども専門コース 受講者数 23 名

●シューフィッタークラブ部会

- ・東日本支部
 - 第 1 回 6 月（東京：37 名） 工場見学 栃木レザー & カネコ（ヒール/ラスト）
 - 第 2 回 9 月（仙台：22 名） 講師 青木 淳 フットプリントの見方とトラブル対処
 - 第 3 回 12 月予定（東京） 講師 永井 恵子/ムーンスター 子どもの足と靴/足型計測
 - 第 4 回 2 月予定（東京） 講師 眞殿 浩之 義肢装具士からみた足と靴/足型計測
- ・西日本支部
 - 第 1 回 5 月（大阪：37 名） 講師 久保田 美智子 接客技術を磨こう/足型計測
 - 第 2 回 8 月（大阪：41 名） 講師 阿部 薫 パンプスに特化した白熱教室
 - 第 3 回 11 月（福岡：10 名） 工場見学 アサヒコーポレーション 講義 子どもから大人へ
 - 第 4 回 2 月予定（大阪） 講師 吉村 真由美 子供の足について下肢構造と症例/足型計測
- ・「第 29 回日本靴医学会学術集会」に参加
11 月 21、22 日 名古屋 愛知産業労働センター「ウイंकあいち」

●情報交流部会

- ・ホームページの見直し
- ・情報誌「トレデュニオン」の発行 Vol.49（8 月号）
2014 年度「バachelor（上級）」認定者 22 名紹介。
SHOE FITTER Story Contest 入賞者 5 名紹介。書籍発刊案内「シューフィッターの小さな奇跡」
- ・消費者啓発イベント開催
ネクスコ・トール関東 8 事業所をはじめ、各地で SF の講演活動実施

●新規事業部会

- ・新マスターコース養成講座開設に向けた専門分科会活動、今年度 5 回実施 承認

2. 第 2 号議案

平成 27 年度上半期収支会計報告及び下半期収支予算見直し承認の件
配布資料に沿って専務理事報告、上半期収支計画は順調に遂行された旨報告 承認
以上を持って議案事項は承認され、報告事項を確認し理事会は終了した。

【報告事項】

- ・50 周年記念事業進捗状況。2016 年 2 月 10 日、14 時～浅草ビューホテルにて開催する。
- ・第 12 回日本整形靴技術協会学術集会大阪大会 2016 年 2 月 20、21 日開催、FHA は後援する。
FHA 認定 SF は参加料割引される。
- ・TPP 皮革関連品目の扱いについては、今後詳しい情報が入り次第報告する。



● 2015年度（第4回）「シニア専門コース」合格者一覧（2015年10月1日認定）



氏名	会社名
小澤 朋子	ヨネックス
朝守 文子	大丸松坂屋百貨店 梅田店
藤井 恵	WOHLTAT (ヴォールタート)
大湯 悦子	アシックスジャパン
細谷 創	HARU shoe studio
萩原 正人	靴とカバン ハギハラ
山口 久美子	チヨダ シューズパレット西葛西店

氏名	会社名
馬上 明日香	クルーズプランニング ベネシユいわき
三島 あゆみ	丸五
小室 麻佑美	チヨダ SPC 新浦安ショッパーズプラザ店
飯島 慶久	プロフィット イイジマ
高橋 雅子	イトヨーカドーアリオ鳳店
公文 康博	土佐ガス aico
近藤 章子	シューズショップカメヤ

氏名	会社名
高田 茂子	ブロック 越谷レイクタウン店
渡辺 晋仁	ファミリーコーポレーション
水上 悟	アシックスジャパン
藤川 翔太	SHOES STAGE
後藤 ひろみ	シンエイ
濱田 智左子	
大濱 久雄	ジーフットアスビー横浜店

● 2016年度（第16回）「バチェラーコース」開催予定

期日：(申込み〆切 2016年5月末日) スクーリング9日間 (7月、11月、3月)
1年コース (東京) 受講料：260,000円+税 仮予約受付中

● 2016年度（第5回）「シニア専門コース」開催予定

期日：2016年10月6、7日予定 2日間コース (東京) 受講料：66,000円+税 仮予約受付中

● 2016年度（第8回）「幼児子ども専門コース」開催予定

期日：2016年12月7、8日予定 2日間コース (東京) 受講料：66,000円+税 仮予約受付中

● IVO：第12回日本整形靴技術協会学術大会大阪大会にFHAは後援します



会期：2016年2月20日(土)、21日(日)
会場：大阪国際交流センター
特典：FHA シューフィッターは入場料割引となります

● 創立50周年記念祝賀会を開催します

1965年8月、日本婦人靴研究会 (IWF) が発足。日本靴総合研究会 (JIF) への改組を経て、今年でFHA 創立50周年を迎えました。FHA、SFC 会員の皆様には別途、祝賀会ご案内をお送りいたします。たくさんの方のご参加をお待ちしております。

日時：2016年2月10日(水) 午後2時～4時
場所：浅草ビューホテル3階「祥雲の間」 東京都台東区西浅草 3-17-1

※シューフィッターの皆様：各地開催の本人参加による足や靴に関わる講演会、計測会等の情報は事前にFHA事務局宛ご連絡ください。HP「シューフィッター活動報告」に掲載し、広く全国の消費者にもお伝えします。
※お願い：勤務先や自宅住所等の変更が生じた時は必ず事務局までメール、FAXまたは電話でご連絡願います。ご連絡が無い場合はトレデュニオンや補習講座の案内をお届けできなくなる事があります。

● FHA/SFC 会員パスワードをご利用ください。 パスワード：kmhs7646
表紙デザイン：株式会社ジャルフィック 池田 正晴

○・・・トレデュニオン・・・○

“トレデュニオン”は、フランス語です。英語では Hyphen (ハイフン) にあたります。FHA 事業理念をもとにFHA 会員、SF、SFC 会員の相互を密接に結ぶ情報誌という意味で命名しました。

VOL.50 (通算85号) 2015年12月1日発行
〈編集・発行〉一般社団法人 足と靴と健康協議会
〒111-0032 東京都台東区浅草 7-1-9
Tel. (03) 3874-7646 Fax. (03) 3875-0880
Email fha@tokyo.email.ne.jp URL http://www.fha.gr.jp/
※ 転載複製